



私の好きなまち

[C#7425]

企画のねらい

人権文化に満ちた差別のない共生社会づくり

「人権の世紀」といわれる今、一人ひとりが大切にされ、いきいきと輝いて生活できる社会づくりのために、人権の尊重が日常生活の中に文化として定着した社会の実現が求められています。

私たちの住む地域、家庭、職場、学校には、人の数だけ価値観や生き方があります。しかし、時として人は「異質なもの」や「自分とは異なる考え方を持つもの」を特別視したり、排除したりしがちです。

この作品は、誰もが体験しうる身近な問題を取り上げながら、「それぞれの違いを認め合い、共に生きる」「相手を思いやる」「夢をもって生きる」ことの大切さを私たちに訴えかけています。

そして、同和問題を今日的な視点から見つめ直すことで、私たちの日常生活を人権の視点から考えることの大切さと、私たち一人ひとりが「人権文化に満ちた差別のない共生社会づくり」の主役であることに気づいていただくため、このドラマを制作しました。



企画／兵庫県・(財)兵庫県人権啓発協会
企画協力／兵庫県教育委員会 制作／東映株式会社

価格／ビデオ版 84,000円(本体80,000円+税)
字幕副音声版ビデオあり [C#7426]
DVD版 84,000円(本体80,000円+税)
※DVD版は、メニュー画面で字幕副音声を選択できます。

上映時間／35分



東映株式会社 教育映像部

〒104-8108 東京都中央区銀座3-2-17
<http://www.toei.co.jp/edu/>

私の好きなまち

あらすじ



亡き父が起こした不動産業を継ぐために、故郷の兵庫へUターンした近藤聰と、東京生まれ東京育ちの妻・由美、小学校5年生の晴香。

晴香は、学校で言葉のアクセントの違いから友達とギクシャクする。由美は、姑と生き方の違いから口論になる。

由美は、社員の鴨居とともに客である山田に空き部屋を案内するが、日当たりと見晴らしが気に入った山田から「同和地区じゃないよね」と聞かれる。怪訝（けげん）に思っている由美に、鴨居は事務所で説明するが「それって偏見でしょ」と由美。



聰は、幼馴染みの茂男と再会し居酒屋で飲んでいる。茂男は聰に結婚することを知らせるが、顔が曇っている。「親が身元調査するって言うねん」「でもとことん話し合う。親子やからな」という茂男。別れ際に、中学時代に書いた「21世紀の自分に」というメッセージを入れたタイムカプセルを茂男から受け取る聰。また、中学卒業後に突然転校した今井美津子が帰っていることを聞かされる。

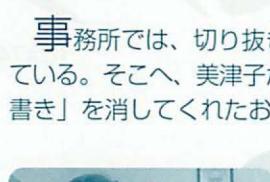
晴香の靴箱に靴がない。友達の恵理と寛太が一緒に探し、寛太がコンポストから見つけ出す。寛太が走り去った後に、寛太の靴袋が落ちていたので、住所を頼りに晴香は届けに行く。寛太の母・美津子にすすめられ、祖父、兄弟と一緒にジャガイモを食べ、飾り気のない温かい雰囲気に晴香は癒されて家へ。



晴香は、帰りが遅いことを心配していた母・由美と祖母・八重子に事情を説明した。晴香から「南北町」と聞かされたとき、八重子の顔が曇る。

夕食後、聰、由美、八重子が同和問題について話し合い、本音で話し合うことの大切さに気づく。

翌日、家族4人は公園でお弁当を食べながら晴香の言葉に「違い」を認め合うことの楽しさを気づかされ、和む。



事務所では、切り抜き記事をもとに聰、由美、鴨居が「人権」についての大切さを確認している。そこへ、美津子がやってきて聰と再会。寛太の母親であることを知る。中学時代の「落書き」を消してくれたお礼を聰に言う美津子。



この町が好きだから戻ってきたという美津子の言葉に背中を押されて、聰は茂男とともに「誰もが住みやすいまち」をつくろうと、十年後の自分に向けて手紙を書きタイムカプセルを埋めるというイベントを企画する。

学習のねらい

- 私たちの社会は、様々な違いのある人々で成り立っています。人権を尊重し、一人ひとりの違いをお互いに認め合うためには、どうすればよいか考えてみましょう。
- 同和問題を自らの課題としてとらえ、差別意識をなくしていくために、私たちはどのような生活をすればよいか考えてみましょう。
- 誰もが大切にされ、いきいきと輝いて生活できる人権文化に満ちた共に生きる社会づくりに向けて、自分のできることを考えてみましょう。

■主なキャスト

近藤 晴香…斎藤 晶
近藤 聰…藤本 幸広
近藤 由美…園 英子

近藤八重子…中村 節子
今井美津子…島田 佳子
岡地 茂男…三波 豊和

■スタッフ

プロデューサー／鎌田 幸人・進藤 盛延
脚 本／山上 梨香
監 督／佐藤 晴夫

関東営業推進室 東京都中央区銀座3-2-17 ☎104-8108 ☎03-3535-3631

関西営業推進室 大阪市北区梅田1-12-6 ☎530-0001 ☎06-6345-9026

広島出張所 広島市中区八丁堀16-10 ☎730-0013 ☎082-511-2066

高松出張所 高松市本町11-7 ☎760-0032 ☎087-851-3766

福岡出張所 福岡市博多区中洲4-3-18 ☎810-0801 ☎092-262-3101

●お買い上げは……

(株)オプチカル 販売課 教育映像係

香川県高松市屋島西町2484-8

TEL 087-841-1100

FAX 087-841-1101